

市営赤保木団地屋根改修工事（C工区）

図 面 リ ス ト		
図番	図 名	縮 尺
01	特記仕様書	N/S
02	仮設計画図	1/600
03	配置図・付近見取図	1/600
04	屋根伏図・立面図（Fタイプ）	1/100
05	屋根伏図・立面図（Gタイプ）	1/100
06	屋根伏図・立面図（Hタイプ）	1/100
07	屋根伏図・立面図（Iタイプ）	1/100
08	部分詳細図	1/5

改修工事特記仕様書

01

一般事項

A

工事概要

01

工事名称

市営赤保木団地屋根改修工事（C工区）

02

建築主

高山市長 田中 明

03

工事場所

岐阜県高山市赤保木町地内

04

地域指定

用途地域

都市計画区域内 無指定地域

建ぺい率（ 60％ ） ・ 緩和（ ）

容積率（ 200％ ） ・ 緩和（ ）

その他地域

05

敷地概要

敷地面積

06

工事項目

主 要 用 途	工事種別	構 造	階 数	備 考
公営住宅（6棟）	改修工事	PCパネル造	2階建	屋根改修 カバー工法

07

その他

B

共通事項

01

適用基準

この特記仕様書、図面及び現場説明書（質疑応答書）に記載の事項以外は下記に準拠する。

工事請負契約書

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（建築・機械設備工事編）令和4年版（以下「標準仕様書」という。）

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築・機械設備工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）

02

特記仕様の表示

項目は番号及び符号に ○ 印をつけたものを適用する。

特記事項は ● 印をつけたものを適用する。

03

優先順位

設計図書間に相違がある場合の優先順位は下記の通りとする。

1）質疑応答書 2）現場説明書 3）特記仕様書 4）標準特記仕様書（添付された場合）5）設計図書 6）改修標準仕様書 7）標準仕様書

C

留意事項

01

使用資材

使用資材については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・ステレン・パラジクロロベンゼンの含まれる量等に充分注意して資材の選定を行うこと。

02

発生材処理

受注者は産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い産業廃棄物関連書類を提出及び確認する。また、処理施設の現地確認及び建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。なお、廃棄物マニフェストE票の写しを監督員に提出すること。

処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理をすること。

03

再生資源の利用計画

建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、工事完了後には同計画書の実施報告書を監督員に提出すること。

04

再資源化施設への搬出

工事に伴い発生する建設廃棄物の内で次のものは再資源化施設へ搬出すること。

コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ○ 木屑 ・ 石膏ボード屑

鉄・アルミ・ステンレス屑 ・ ガラス・陶磁器屑 ・ 繊維屑 ・ プラスチック屑類

05

その他

材料については、グリーン購入法適合品及びリサイクル再生品等を優先し監督員の承諾を得ること。

D

一般事項

01

工事着手前協議

受注者は契約後2週間以内に設計書内容等について監督員と工事着手前協議を行うこと。

協議にあたっては、施工打合せ記録簿に協議事項を記入し打合せに持参すること。尚、協議日の設定については、受注者が事前に監督員と連絡をとり設定すること。

協議には、発注者側より監督員及び係長又は課長が、受注者側より現場代理人及び主任技術者が出席する。

協議時において施工打合せ記録簿の回答欄は監督員が記入し、最後に監督員及び係長又は課長の確認印を押印する。また、その写しは現場代理人（主任技術者）が受け取ること。

02

設計図書との差異

本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図書に基づいて作成されている。従って新築時の納り及び取合いの変更等により既存建物の状態と本設計図書との間に差異が生じ、本設計図書による施工が困難な場合は、監督員と協議しその指示に従うこと。

03

変 更

工事内容に変更が生じる時は、協議書予め提出して承認を受けた後に変更工事に着手すること。尚、この場合の見積単価については契約時のものとする。但し、工術上必要な微細なる工事変更については、監督員の指示に従い受注者の工事費負担により施工すること。

04

工事監理者等

受注者は監督員から建築士事務所等に委託した工事監理者等が通知された場合には下記に従う。

1）工事監理者等が現場で立会い等の臨場をする場合にはその業務に協力する。又、書類（工事関係図書、施工図等）の提出に関し説明を求められた場合にはこれに応じる。

2）監督員から受注者に対する指示又は通知等を工事監理者等を通じて行う場合があるため、この際は監督員から直接指示又は通知等があったものと同等として取扱う。

3）監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知等は工事監理者等を通じて行うことができるものとする。

05

立 会 検 査

下記の項目については監督員の立会検査を受ける。尚、検査立会記録書に監督員の記名捺印を受けなくてはならない。

各種製品検査

各種仕上検査

段階確認

完成前検査

06

電子メールの利用

本工事の施工中における受発注者間の情報共有は電子メールを利用することができる。

07

工事書類の簡素化

工事書類の簡素化にあたっては「工事書類簡素化要領」に基づいて実施すること。

08

提出書類

書式・部数・時期等は高山市ホームページ上に記載された内容とし、遅滞なく監督員に提出し承認を受けること。尚、監督員との協議により一部を省略することが出来る。

09

施工計画書等

各種工事に別機器・機材・工法等を具体的に定めた施工計画書を提出して監督員の承認を得ること。尚、施工計画書に基づいた作業方法等を記載した施工要領書（検査方法も含む）を添付すること。

10

指定材料の承認

各種見本品及び製作図・製品図は、工事進行に支障のないよう事前に提出し監督員の承認を得ること。尚、見本品については監督員が指示するサイズや形状のものとする。

J I S ・ J A S規格を有する材料は全て J I S ・ J A S規格品を使用すること。

11

材 料 試 験

本工事に使用する材料の内で監督員より指示があるものに関してはその成績表を提出し承認を受けること。尚、試験に要する費用については受注者の負担とする。

12

施 工 図

各種工事に先立ち施工図及び承認図を提出して監督員の承認を得てから当該工事に着手すること。尚、完成時にはのり入れ製本の上で監督員に提出すること。

13

完 成 図

完成図及び監督員の指示する図面を作成してのり入れ製本2部を監督員に提出すること。

14

工事写真

各種工事についての要点を撮影して内容説明を記入の上で監督員に提出すること。

完成時には、

外観部分（2ヶ所）

内観指示部分（5ヶ所以上）

をキャビネ版（カラー）にてファイルにまとめて監督員に提出すること。

15

手 続 き

工事施工完成に必要な諸官庁等への手続は全て受注者の責任とする。尚、手続費用については受注者の負担とする。

16

建設工事保険

受注者は工事にあたり建設工事保険または相当する保険に加入し、加入を証する書面の写しを加入後ただちに監督員に提出すること。加入期間は工事着手日より工事完成日の15日後までの期間を満足すること。

17

工事保証

契約約款に定めるところによる。

工事完成引渡後1年が経過した時点において監督員立会のもとで1年検査を行い、工事不良の為に生じたと認められる損害等については、監督員の指示に従い改修しなければならない。尚、その費用については受注者の負担とする。

18

工事実績データ

工事請負代金額500万円以上の工事については「CORINS」に登録、申請を行うこと。

19

下請負契約

本工事中において下請負契約を締結する場合には、当該契約の相手方を高山市内に本店（建設業法（昭和24年第100号）に規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。下請負者は高山市入札参加資格停止の処置がされていない者を選定すること。

本工事中において工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方を高山市内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料についても高山市内での生産品（高山市内での生産のないものにあつては岐阜県産品）を選定するよう努めること。

20

重点監督対象工事

当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取扱いに従うこと。

21

実施状況の提出

受注者は工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了時までに実施状況を提出することができる。

22

適正燃料の使用

ディーゼルエンジンを動力とする車両には J I S規格の軽油を使用すること。

ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。

23

週休二日制工事の実施

本工事は、完全週休二日を原則とした週休二日制工事（現場閉所）とする。詳細は、「高山市発注の建設工事に係る週休二日制工事実施要領」に従うこと。

24

そ の 他

受注者は工事着手に先立ち全住戸に工事内容を記した案内文書を配布（回覧）すること。

工事中に作業の支障となる居住者の所有物は、居住者の承諾を得て移設・復旧すること。

本工事は居住者が生活をしながらの工事となるため工事中の騒音・防塵対策を十分に施し、居住者の生活に支障を来すことのないように万全を期すこと。また、工事の工程を居住者及び住居管理者に事前告知すること。

居住者からの工事に関する苦情等は受注者が対応し、その内容を監督員に報告すること。

01

仮 設 工 事

01

仮 設 計 画

設計図書中の仮設計画図を元に施工し、事故防止・安全管理に努めること。

建物位置と敷地との相対関係、資材搬出入方法と敷地内外の条件、足場の危険防止、衛生、安全計画書等を提出して監督員の承認を得ること。

工事車両の搬出入経路は、近隣の状況を把握して迷惑を掛けないよう配慮すること。又、必要に応じて搬出入経路に交通誘導警備員を配備すること。

02

現 場 事 務 所

規 模 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 ・ 5号 ○ 指定なし

設備・備品 ○ 机、椅子、書棚、黒板、電話、FAX、その他監督員の指示による。

03

工 事 用 水

構内既存の施設 ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償） ○ 利用できない

04

工 事 用 電 力

構内既存の施設 ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償） ○ 利用できない

05

工 事 看 板

本工事現場に掲示する看板は大きさ（1800×900程度）とし、書体・仕上・取付位置等はあらかじめ監督員と協議すること。確認済表示板等の工事に関する表示板は工事現場の見易い場所に掲示すること。

06

保 護 設 備

本工事の施工に当り、隣地建物・工作物及び通行人に対して損害等を与えないよう必要な保護設備を計画して監督員及び関係者の承認を得てから完全な実施を期さなくてはならない。万一損害を与えた時は、すみやかに応急手当及び復旧工事を行うこと。尚、これに要した費用については受注者の負担とする。

07

現 地 調 査

既存設備の詳細について現地調査を行い、現状図にて施工上の留意点を明確にすること。

08

足 場 等

足場・棧橋・仮囲い等は、適切な材料及び構造とすること。定置する足場及び棧橋類は、別契約の関係受注者に無償で使用させること。

外部足場は「手すり先行工法による足場設置基準」に基づいたくさび緊結式足場とする。

09

安 全 点 検

作業開始前・終了後の現場内外の点検を必ず毎日行うこと。

10

掃 除 復 旧

工事完了後建物引渡し前に全体の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。

本工事ににより公道等の工事による損傷部分は完全に復旧すること。又、現場侵入経路となる公道及び構内の舗装が破損した場合は原形復旧を行い、維持管理等の費用について受注者が負担する。尚、公道復旧の要領は管理官庁の指導を受けること。

工事過程において、既設諸施設に損傷を与えた場合は受注者の責任において原形復旧を行う。

11

そ の 他

工事施工にあたっては「騒音規制法」「振動規制法」「岐阜県公害防止条例」等の規定に遵守し、低騒音・低振動型の重機を使用して騒音・埃・運搬等により施設付近の住民に迷惑を及ぼさないように対策を充分に講ずること。

設計図書に記載がなく、工地上に必要な仮設・撤去・移設・養生等が発生した場合は監督員のもと速やかに対処すること。

02

屋 根 工 事

01

仕 上 材

材 料 名 称…瓦棒葺（S式カバー工法）
仕 様…遮熱艶消カラーGL銅板t0.4

02

防 水 シ ー ト

材 料 名 称…アスファルトルーフィング940

03

副 資 材

材 料 名 称…棟包み、唐草、破風包み、鼻隠包み
仕 様…遮熱艶消カラーGL銅板t0.4

04

雨 樋

軒樋：カラー鋼板製半丸樋φ105 受金物@450

堅樋：カラー鋼板製丸樋φ75 掘金物@1200程度

集水器：カラー鋼板製

05

排 水 ド レ イ ン

中継ドレイン：カラー鋼板加工（周囲シーリング）

06

雪 止 め

雪止めアングル：L－40×40×5（亜鉛メッキ品）

07

そ の 他

屋根材についてはメーカーからの10年保証期間の保証書を監督員に提出すること。

03

防 水 工 事

01

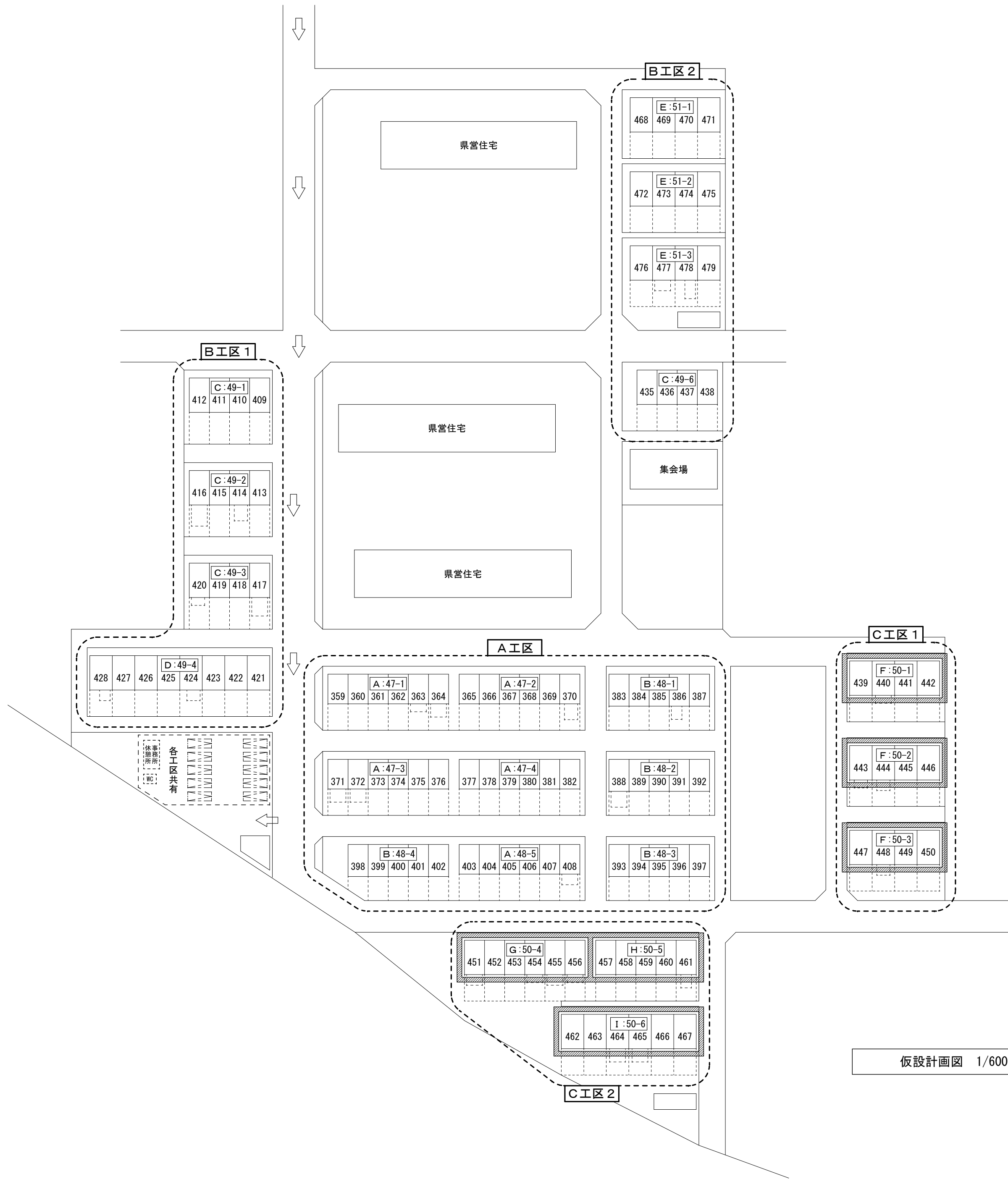
シ ー リ ン グ 材

種 類	記 号	施 工 箇 所
○ 変 成 シ リ コ ー ン 系	MS－2	金属－コンクリート
・ シ リ コ ー ン 系	SR－1	金属－ガラス

02

そ の 他

工事名	市営赤保木団地屋根改修工事（C工区）		
図 名	特記仕様書		
縮 尺	N/S	番 号	8枚の内 1号
設 計 年月日	令和7年 5月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

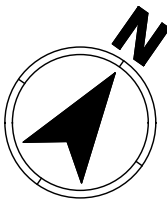


仮設計画一覧表		
記 号	名 称	仕 様
	外部足場	くさび緊結式足場(手摺先行方式)W600、階段足場、巾木メッシュシート張
	現場事務所・休憩所	【参考】組立式仮設ハウス(平屋建)
	仮設トイレ	【参考】汲取式(簡易水洗)
	駐車スペース	資材運搬車両、作業員車両
	搬出入経路	資材搬出入、工事車両進入

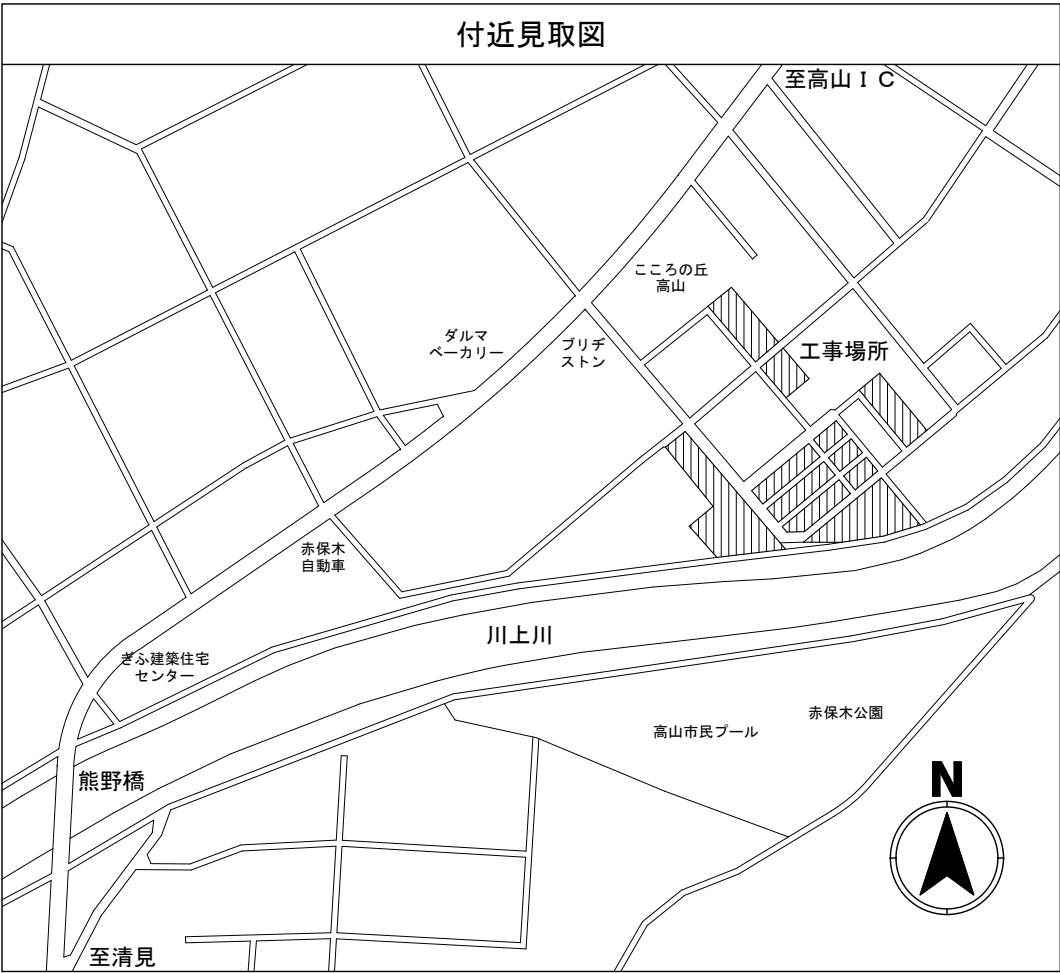
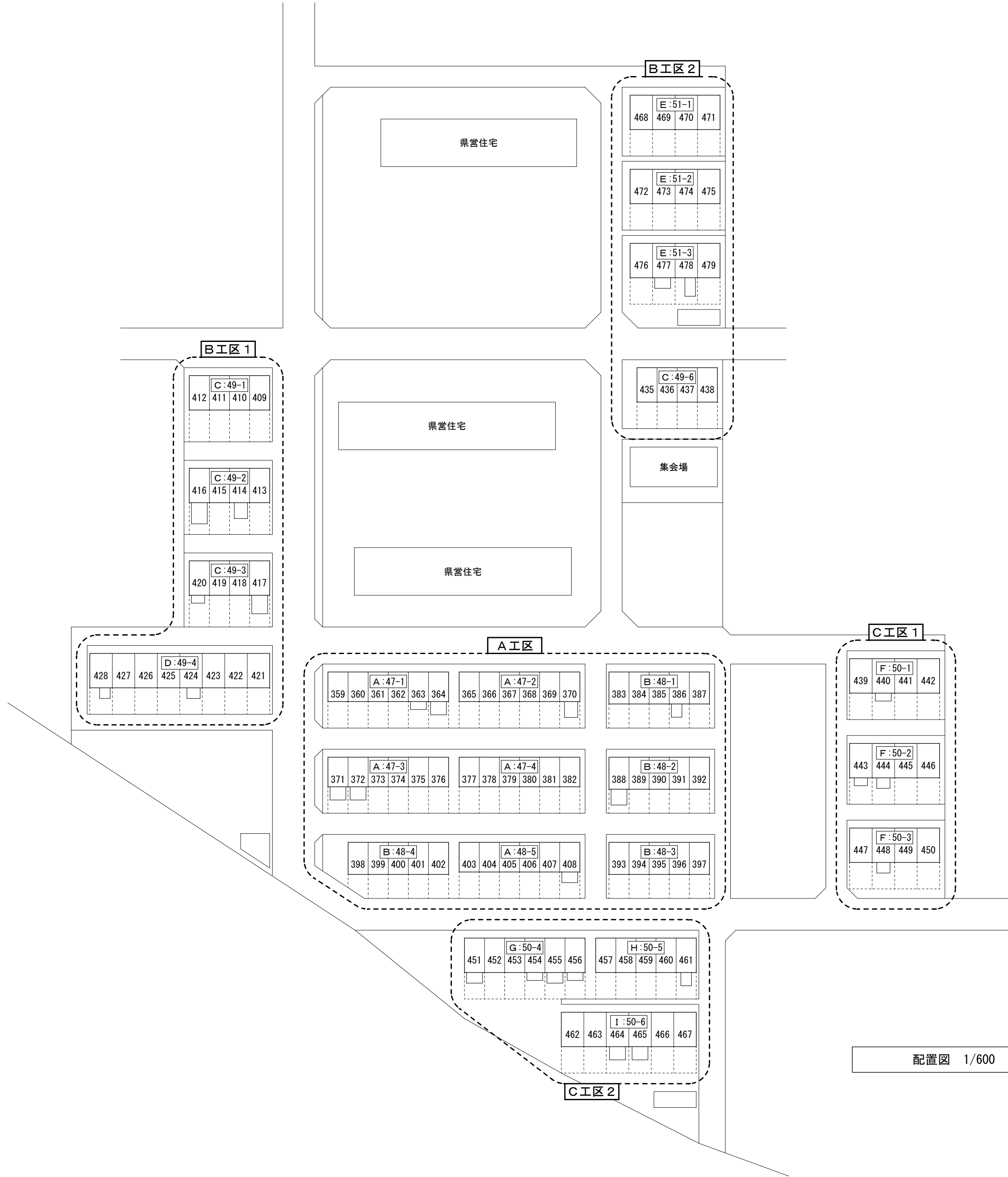
仮設計画について

- 現場事務所・休憩所・仮設トイレ等の設置は、事前に監督職員の承認を受けること。
- 資材搬出入のため工事車両が出入りする時は必要に応じて搬出入経路に交通誘導警備員を配備すること。
- 工事施工にあたっては「騒音規制法」「振動規制法」「岐阜県公害防止条例」等の規定に遵守し、低騒音・低振動型の重機を使用して騒音・ホコリ・運搬等により施設及び近隣に迷惑を掛けないように対策を十分に講ずること。
- 工事完了後建物引渡し前に施工箇所及び隣接する部分で工事中のホコリ等で影響を与えた箇所の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。
- くさび緊結式足場には垂直方向5m以下、水平方向5.5m以下に壁つなぎを設け災害防止ネットを設け、事故防止、安全管理に努めること。
- 地盤が悪い箇所での設置は鉄板を敷く等の対処を行うこと。
- 各住戸の出入口前面は外部足場の開口部を設け、開口部の左右は足場内に侵入できないようにメッシュシートで覆うこと。

仮設計画図 1/600

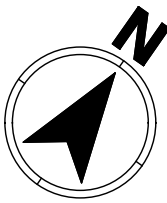


工事名	市営赤保木団地屋根改修工事（C工区）		
図 名	仮設計画図		
縮 尺	1/600	番 号	8 枚の内 2 号
設 計 年月日	令和 7 年 5 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

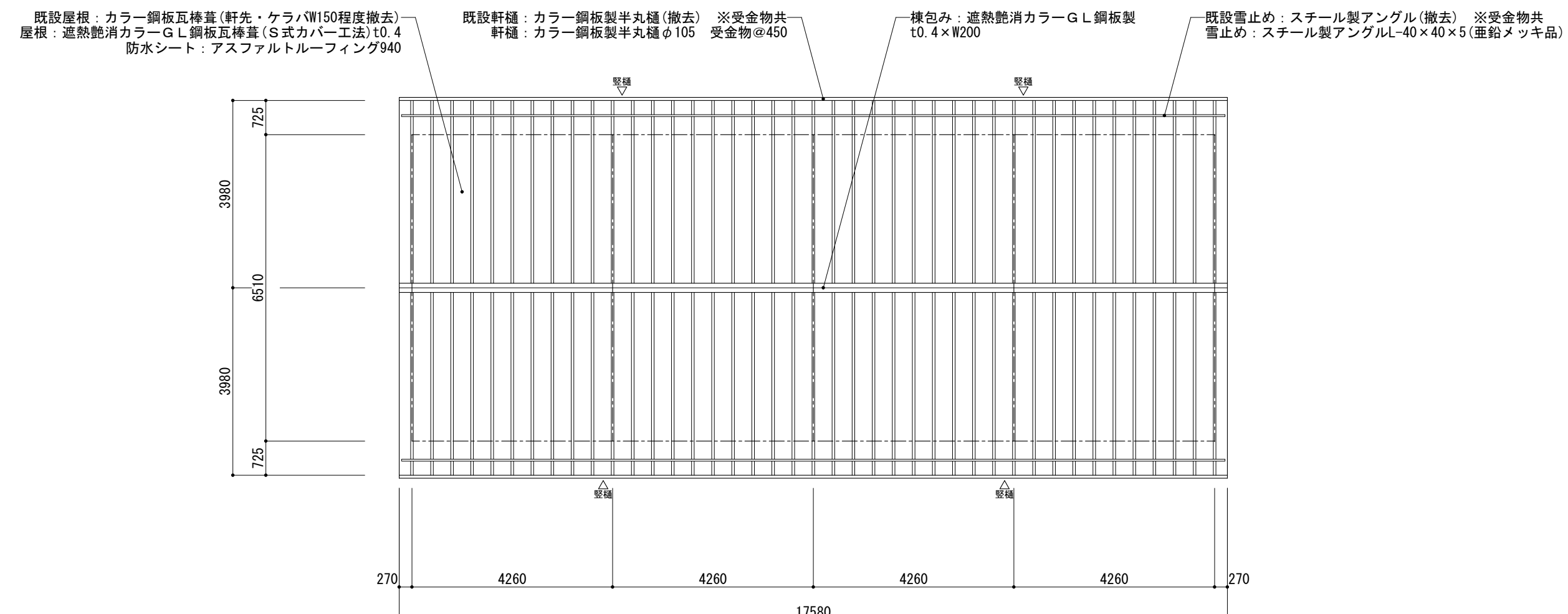
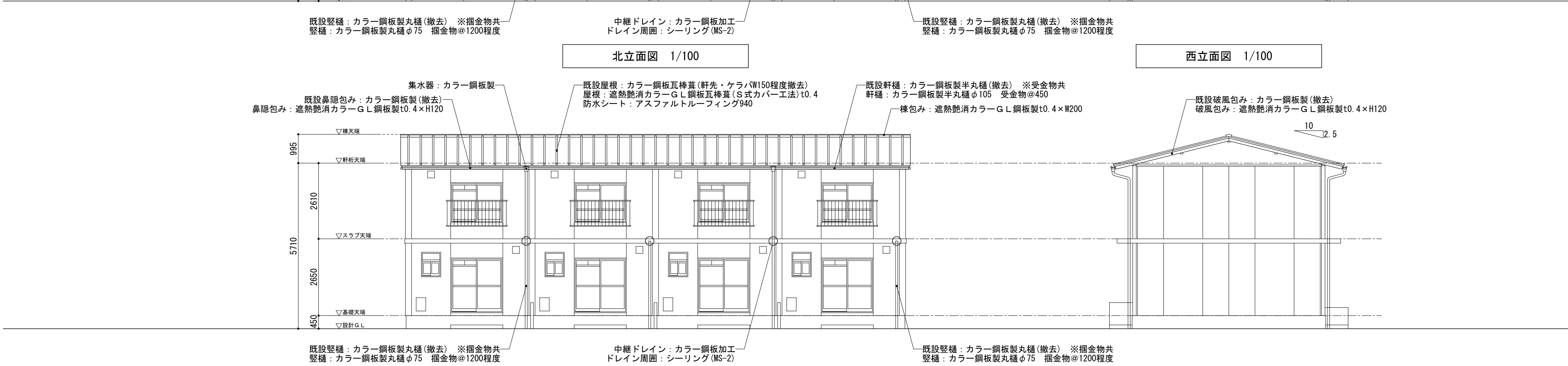
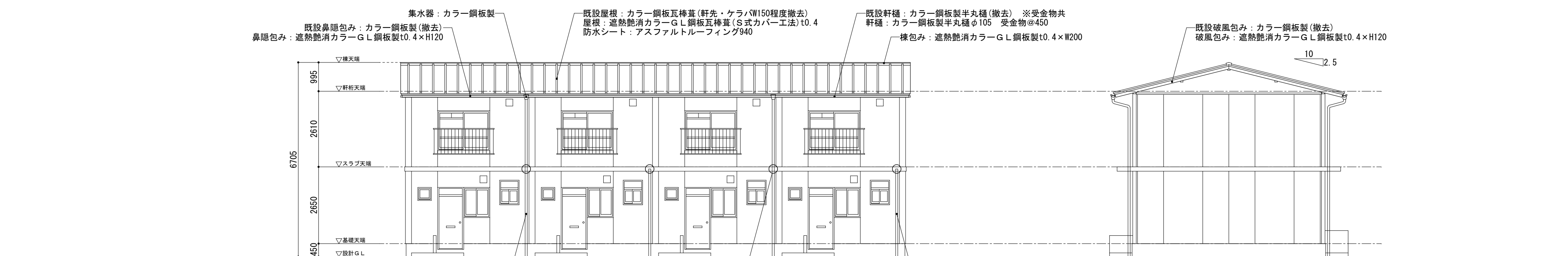


棟別一覧表			
工 区	棟タイプ	住戸数	棟 数
A工区	Aタイプ(4060S)	6戸	5棟
	Bタイプ(4065S)	5戸	4棟
B工区	Cタイプ(4070S)	4戸	4棟
	Dタイプ(4570S)	8戸	1棟
	Eタイプ(4570S)	4戸	3棟
C工区	Fタイプ(4570S)	4戸	3棟
	Gタイプ(4070S)	6戸	1棟
	Hタイプ(4070S)	5戸	1棟
	Iタイプ(4570S)	6戸	1棟
合 計			23棟

配置図 1/600



工事名	市営赤保木団地屋根改修工事（Ｃ工区）		
図 名	配置図・付近見取図		
縮 尺	1/600	番 号	8枚の内 3号
設 計 年月日	令和7年 5月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大田登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

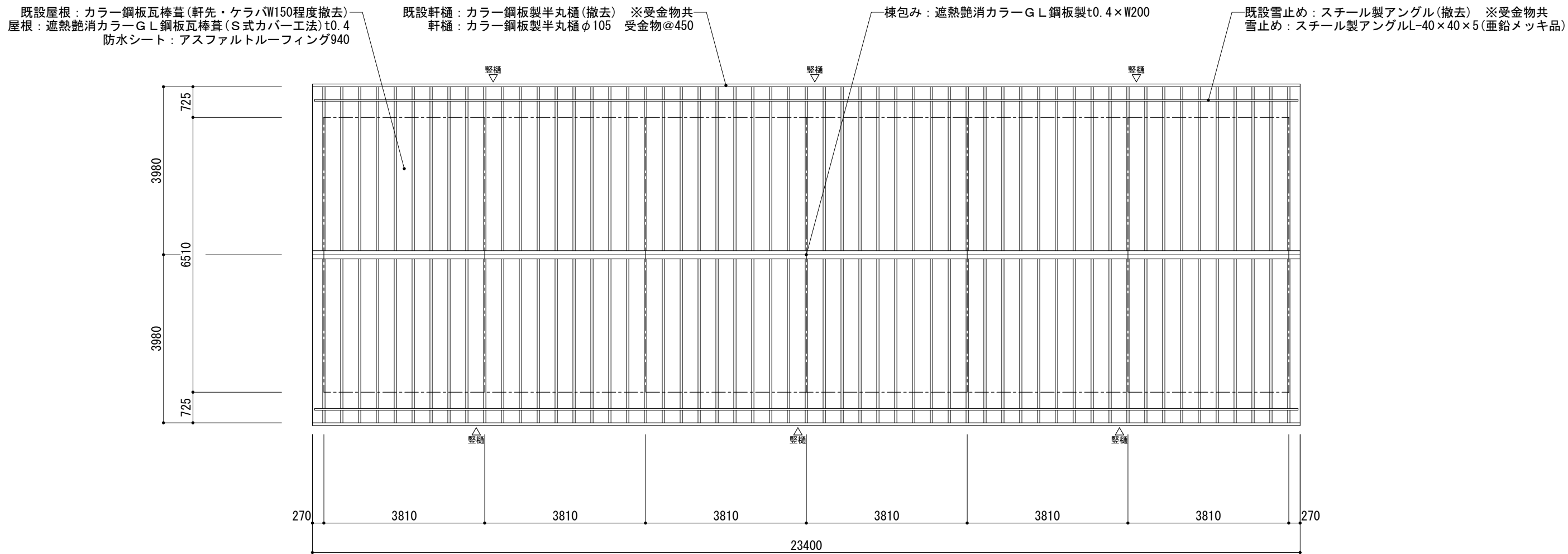
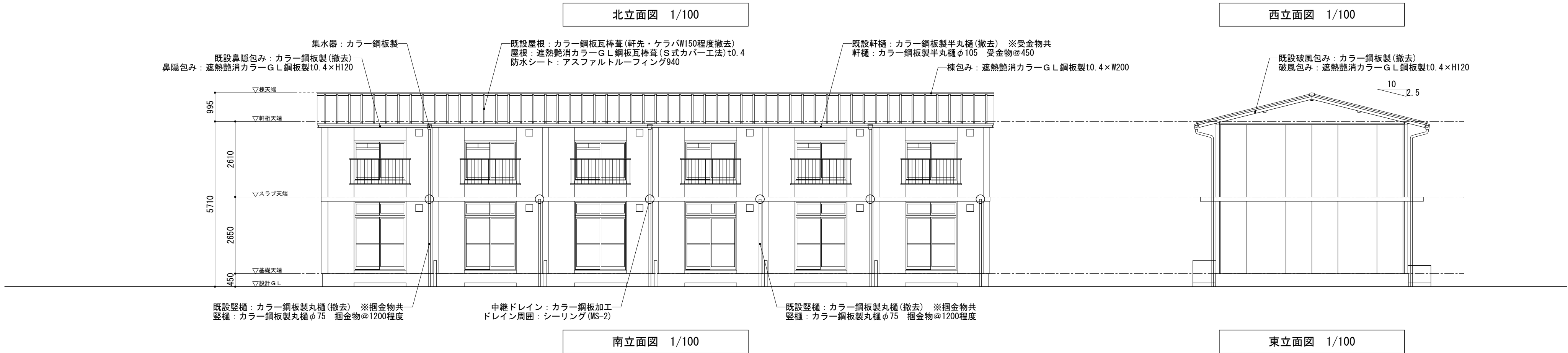
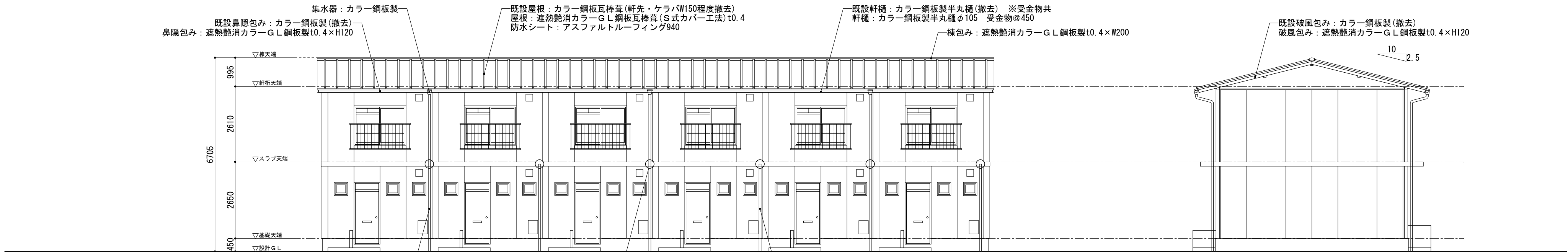


Fタイプ	50-1、50-2、50-3
------	----------------

屋根上アンテナについて

- ・テレビアンテナは各住戸に1台設置されているものとする。
- ・屋根改修工事に先立ち既設アンテナを取外し、外部足場の手摺等へ仮設置する。
- ・屋根改修工事完了後に既設アンテナを既存位置付近に本設置する。なお、再利用が困難な部材等は取替えを行い、その費用については本工事に含むものとする。
- ・既設アンテナの取外し前及び本設置後は各住戸の電波状況を確認し、取外し前より状況が悪い場合は調整を行うこと。

工事名	市営赤保木団地屋根改修工事（C工区）		
図 名	屋根伏図・立面図（Fタイプ）		
縮 尺	1/100	番 号	8 枚の内 4 号
設 計 年月日	令和 7 年 5 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

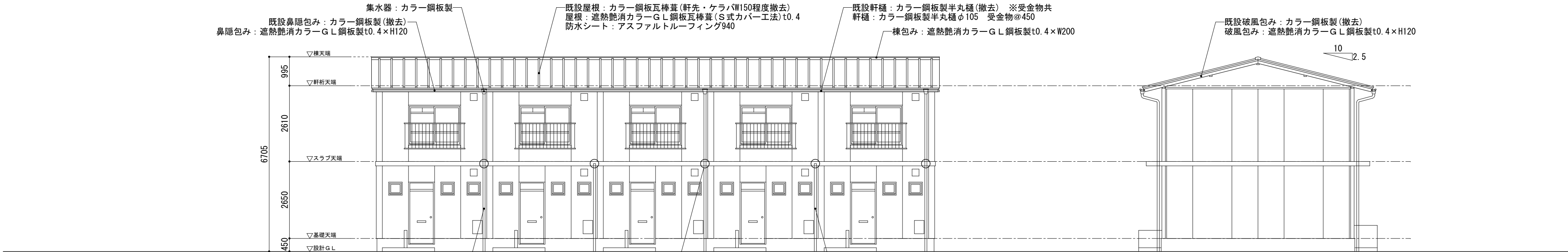


Gタイプ	50-4
------	------

屋根上アンテナについて

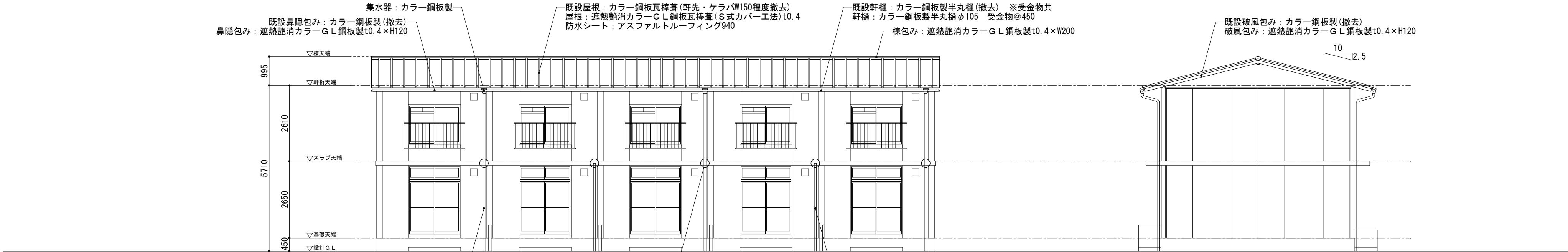
- ・テレビアンテナは各住戸に1台設置されているものとする。
- ・屋根改修工事に先立ち既設アンテナを取外し、外部足場の手摺等へ仮設置する。
- ・屋根改修工事完了後に既設アンテナを既存位置付近に本設置する。なお、再利用が困難な部材等は取替えを行い、その費用については本工事に含むものとする。
- ・既設アンテナの取外し前及び本設置後は各住戸の電波状況を確認し、取外し前より状況が悪い場合は調整を行うこと。

工事名	市営赤保木団地屋根改修工事（C工区）		
図 名	屋根伏図・立面図（Gタイプ）		
縮 尺	1/100	番 号	8枚の内 5号
設 計 年月日	令和7年 5月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



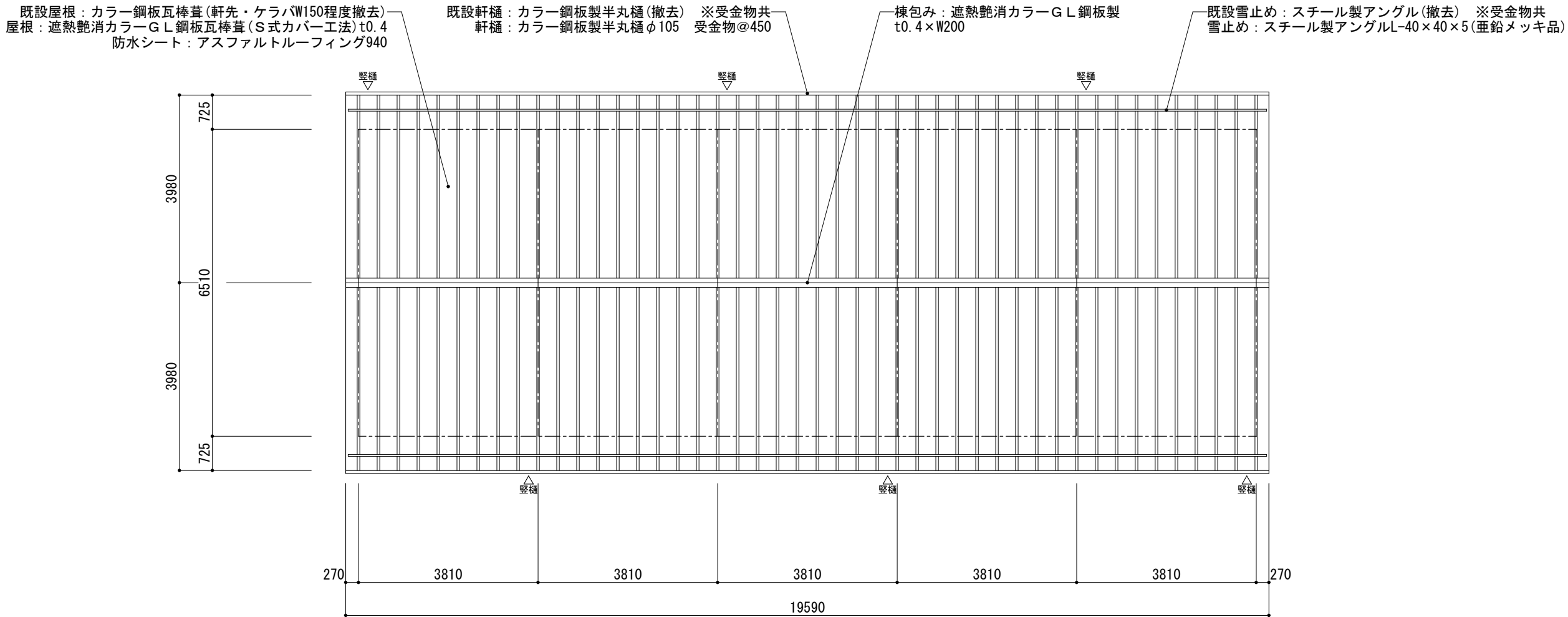
北立面図 1/100

西立面図 1/100



南立面図 1/100

東立面図 1/100



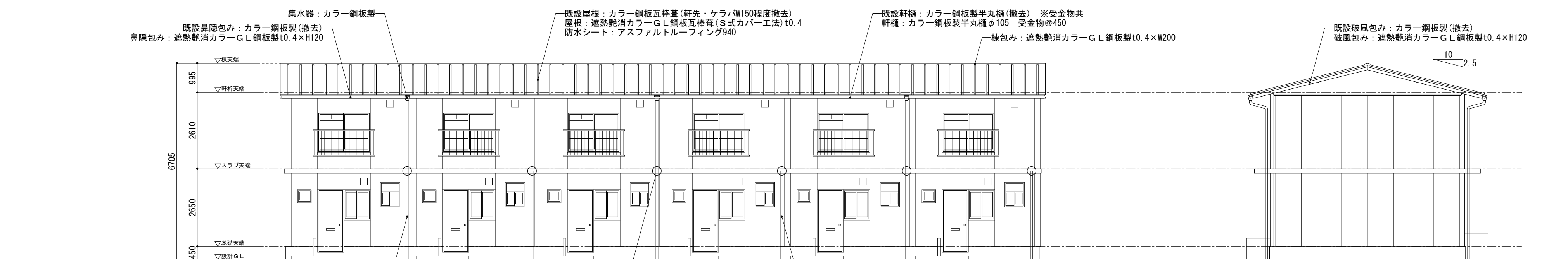
屋根伏図 1/100

Hタイプ	50-5
------	------

屋根上アンテナについて

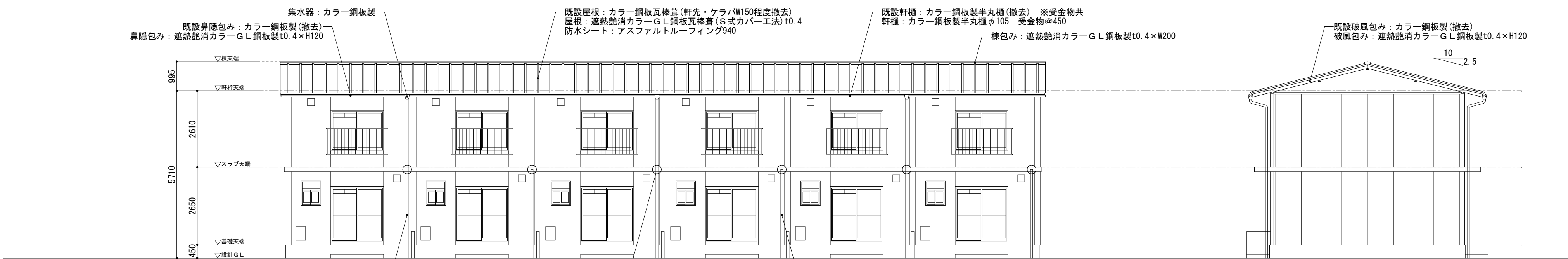
- ・テレビアンテナは各住戸に1台設置されているものとする。
- ・屋根改修工事に先立ち既設アンテナを取外し、外部足場の手摺等へ仮設置する。
- ・屋根改修工事完了後に既設アンテナを既存位置付近に本設置する。なお、再利用が困難な部材等は取替えを行い、その費用については本工事に含むものとする。
- ・既設アンテナの取外し前及び本設置後は各住戸の電波状況を確認し、取外し前より状況が悪い場合は調整を行うこと。

工事名	市営赤保木団地屋根改修工事（Ｃ工区）		
図 名	屋根伏図・立面図（Ｈタイプ）		
縮 尺	1/100	番 号	8 枚の内 6 号
設 計 年月日	令和 7 年 5 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



北立面図 1/100

西立面図 1/100



南立面図 1/100

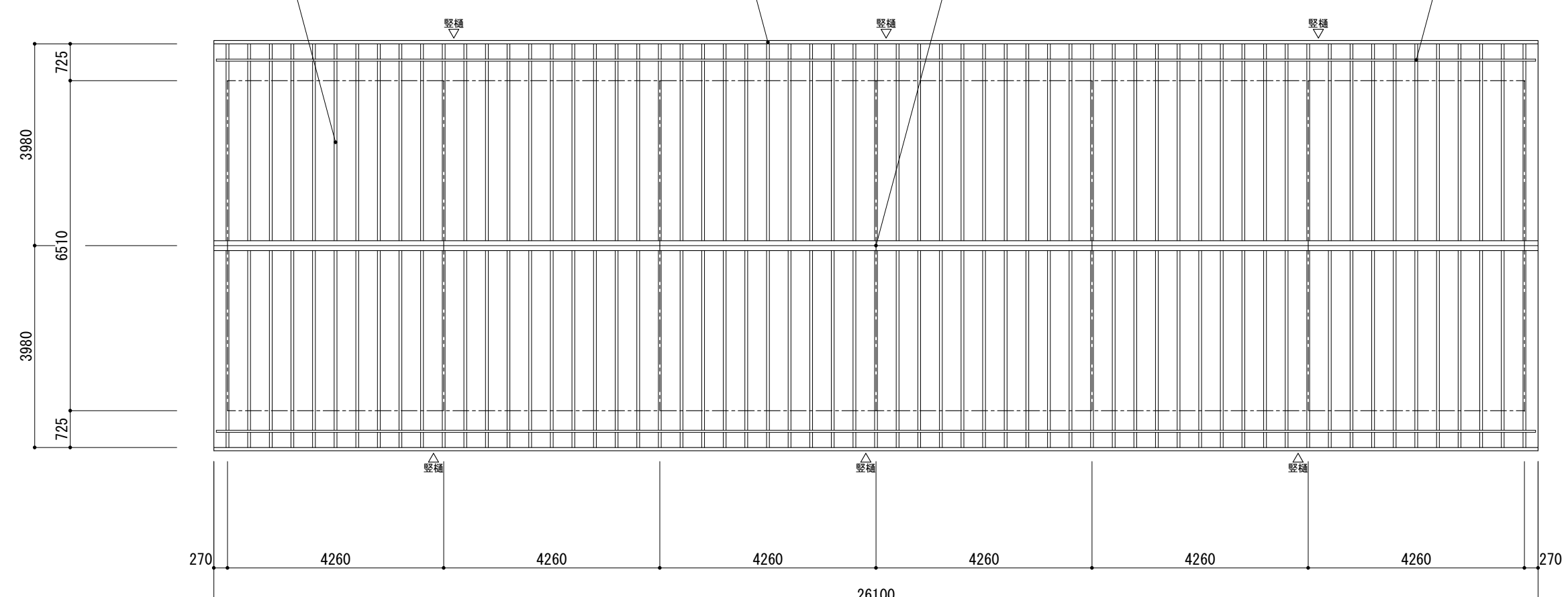
東立面図 1/100

既設屋根：カラー鋼板瓦棒葺(軒先・ケラハW150程度撤去)
屋根：遮熱艶消カラーG L 鋼板瓦棒葺(S式カバー工法)t0.4
防水シート：アスファルトルーフィング940

既設軒樋：カラー鋼板製半丸樋(撤去) ※受金物共
軒樋：カラー鋼板製半丸樋φ105 受金物@450

棟包み：遮熱艶消カラーG L 鋼板製t0.4×W200

既設雪止め：スチール製アングル(撤去) ※受金物共
雪止め：スチール製アングルL-40×40×5(亜鉛メッキ品)



屋根伏図 1/100

I タイプ	50-6
-------	------

屋根上アンテナについて

- ・テレビアンテナは各住戸に1台設置されているものとする。
- ・屋根改修工事に先立ち既設アンテナを取外し、外部足場の手摺等へ仮設置する。
- ・屋根改修工事完了後に既設アンテナを既存位置付近に本設置する。なお、再利用が困難な部材等は取替えを行い、その費用については本工事に含むものとする。
- ・既設アンテナの取外し前及び本設置後は各住戸の電波状況を確認し、取外し前より状況が悪い場合は調整を行うこと。

工事名	市営赤保木団地屋根改修工事（C工区）		
図 名	屋根伏図・立面図（Ⅰタイプ）		
縮 尺	1/100	番 号	8枚の内 7号
設 計 年月日	令和7年 5月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

名 称	軒先・ケラバ廻り詳細図 1/5																																	
姿 図	<div><div><div>改修前</div><div></div></div><div><div>改修後</div><div></div></div><div><div>改修後</div><div></div></div></div>																																	
仕 様	屋根：遮熱艶消カラーG L 鋼板瓦棒葺(S 式カバー工法)t0.4 、 防水シート：アスファルトルーフィング940 、 唐草・破風包み・鼻隠包み：遮熱艶消カラーG L 鋼板製t0.4 雪止め：スチール製アングルL-40×40×5(亜鉛メッキ品) 、 軒樋：カラー鋼板製半丸樋φ105 受金物@450 、 縦樋：カラー鋼板製丸樋φ75 掴金物@1200程度																																	
名 称	棟廻り詳細図 1/5		庇廻り詳細図 1/5																															
姿 図	<div><div>改修後</div><div></div></div>		<div><div>改修後</div><div></div></div>																															
仕 様	棟包み・エブロン：遮熱艶消カラーG L 鋼板製t0.4 、 棟下地：木製下地材W90×H30		中継ドレイン周囲：シーリング(MS-2) 、 縦樋：カラー鋼板製丸樋φ75 掴金物@1200程度																															
<table><tr><td>工事名</td><td colspan="4">市営赤保木団地屋根改修工事(C工区)</td></tr><tr><td>図 名</td><td colspan="4">部分詳細図</td></tr><tr><td>縮 尺</td><td>1/5</td><td>番 号</td><td colspan="2">8 枚の内 8 号</td></tr><tr><td>設 計 年月日</td><td colspan="4">令和7年 5月</td></tr><tr><td>設 計</td><td colspan="4">有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀</td></tr><tr><td colspan="5">高 山 市</td></tr></table>					工事名	市営赤保木団地屋根改修工事(C工区)				図 名	部分詳細図				縮 尺	1/5	番 号	8 枚の内 8 号		設 計 年月日	令和7年 5月				設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀				高 山 市				
工事名	市営赤保木団地屋根改修工事(C工区)																																	
図 名	部分詳細図																																	
縮 尺	1/5	番 号	8 枚の内 8 号																															
設 計 年月日	令和7年 5月																																	
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀																																	
高 山 市																																		